

## 議員提案政策条例の規定による施策等の実施状況及び成果に関する報告書

### 1 条例の基本事項

条例の名称	茨城県県産木材利用促進条例		
担当課（室）	農林水産部林政課	公布日	平成26年4月1日
報告の根拠	(年次報告) 第18条 知事は、毎年度、県産木材の利用の促進に関して講じた施策の実施状況及び成果を取りまとめ、議会に対し報告するとともに、これを公表するものとする。		

## 2 条例の概要

# 茨城県県産木材利用促進条例の概要

平成26年3月20日制定

平成26年4月1日施行

### 前文

本県の林業及び木材産業は、林産物の生産を通して、水源を涵養し、県土を洪水や土砂災害から守り、自然との触れ合いや保健休養の場を提供するなど、森林の有する多面的機能を発揮する上で、重要な役割を果たしてきた。木材は環境への負荷が少なく、再生産が可能であることから、循環型社会を形成する上で重要であり、木材を化石燃料の代わりにエネルギーとして利用し、地球温暖化の防止に貢献することや、建築資材等を環境に優しい木材に転換することにより低炭素社会づくりを進めることなど、木材利用の拡大に対する期待が高まっている。

ここに、私たちは、木材が人に優しく、環境に負荷の少ない資源であることを認識し、県及び関係者が協働し、県産木材の幅広い利用を進めることを決意し、この条例を制定する。

### 総 則

### 目 的

県産木材の利用の促進に関し、基本理念を定め、県の責務並びに関係者の役割を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めることにより、県産木材の利用の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって

- ・森林の有する多面的機能の持続的な発揮
- ・林業及び木材産業の健全な発展
- ・木材の積極的な利用による循環型社会の形成

に寄与することを目的とする。

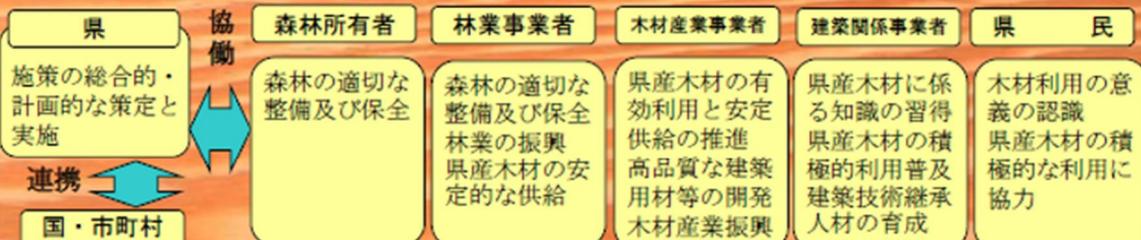
### 基本理念

県産木材の利用の促進は、森林の有する多面的機能の恩恵に感謝しつつ、森林資源が枯渇することがないように次代に引き継ぐとともに、循環型社会の形成に資するよう持続的に行わなければならない。

### 責 務

### 役 割 ・ 協 力

### 責務と役割



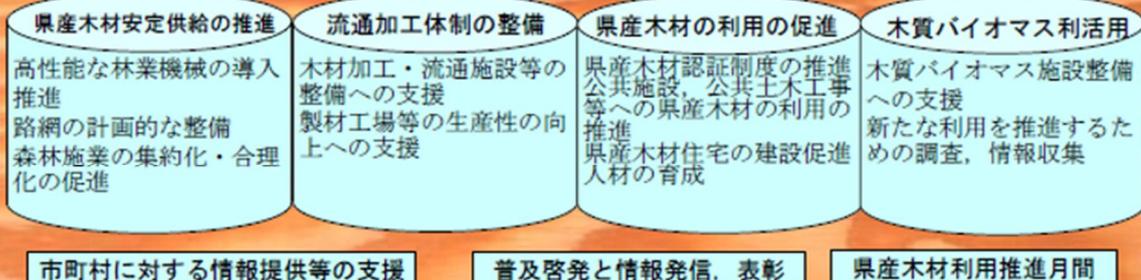
### 県産木材の利用の促進に関する指針

### 指 針

知事は、県産木材の利用の促進について、基本的な指針である「県産木材の利用の促進に関する指針」を定める。①取組方針と目標 ②県産木材の利用及び供給の確保に関する基本的事項 ③その他

### 県産木材の利用の促進に関する基本的施策

### 基本的施策



### その他の措置、付則

### 財政上の措置

### 3 条例の規定による事業等の実施状況及び成果並びに今後の取組

#### (1) 県産木材安定供給の推進

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 いばらき林業 トップランナー 育成支援事業	意欲と能力のある林業経営体のうち森林経営の集約化に取り組む林業経営体	森林整備の効率化等を図るため、森林経営の集約化に取り組む経営体における高性能林業機械やスマート林業機器の導入などを支援する。  【前年度実績】 ・高性能林業機械の導入 3事業体 ・リモートセンシング機器等の導入 6事業体 ・スマート林業推進協議会の開催 4回	120,096千円
【今後の取組】 いばらき林業 トップランナー 育成支援事業	意欲と能力のある林業経営体のうち森林経営の集約化に取り組む林業経営体	森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるためには、林業の自立化が不可欠であることから、引き続き規模の拡大に取り組む林業経営体における生産コストの削減や安全性を向上させるための取組を支援していく。	150,000千円
【前年度の実施状況及び成果】 林業改良指導 事業	県	林業普及指導員等が林業技術や森林経営の集約化などの普及・指導を行い、林業経営体の規模拡大と併せて、人材の確保・育成を図る。  【前年度実績】 (普及対象別内訳 (延べ人数)) ・林家等 11,122名 ・会社等の事業体 2,131名 ・市町村 2,593名 ・森林組合等 1,583名 計 17,429名	167,427千円
【今後の取組】 林業改良指導 事業	県	森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるとともに、林業・木材産業の健全に発展させるため、林業経営体に対する指導に加え、人材の確保・育成を図る。	161,064千円

<p>【前年度の実施状況及び成果】</p> <p>林業担い手育成強化対策事業</p>	<p>(公社) 茨城県森林・林業協会</p>	<p>林業への就業を希望する者を対象とした相談や林業経営体の経営力を向上するための研修会等の取組を支援し、担い手の確保・育成を図る。</p> <p>【前年度実績】</p> <p>(就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就業希望者相談 55件</li> <li>・事業体相談・指導 190件</li> </ul> <p>(事業体経営力強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業機械のデモ実演及び操作体験等</li> </ul> <p style="text-align: right;">3回 (73名)</p> <p>(林業就業支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業作業実地研修等</li> </ul> <p style="text-align: right;">7日間コース 2回 (11名)</p>	<p>11,197千円</p>
<p>【今後の取組】</p> <p>林業担い手育成強化対策事業</p>	<p>(公社) 茨城県森林・林業協会</p>	<p>林業・木材産業を健全に発展させていくためには、担い手の確保と育成を図るとともに、経営体の経営力を向上させることが不可欠であることから、引き続き、取組を進めていく。</p>	<p>11,300千円</p>
<p>【前年度の実施状況及び成果】</p> <p>市町村森林整備等バックアップ事業（林業従事者技能向上対策）</p>	<p>(公社) 茨城県森林・林業協会</p>	<p>主伐・再造林による一貫施業等を進める上で、必要な技術を習得した森林施業技術者を養成するため、林業従事者を対象に講習会を実施する。</p> <p>【前年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業道等路網整備技能習得 12回 (15名)</li> <li>・伐木・造材・搬出技能習得 28回 (50名)</li> <li>・地拵え・造林技能習得 14回 (16名)</li> </ul>	<p>7,000千円</p>
<p>【今後の取組】</p> <p>市町村森林整備等バックアップ事業（林業従事者技能向上対策）</p>	<p>(公社) 茨城県森林・林業協会</p>	<p>再造林の省力化と低コスト化に向けて、引き続き、一貫施業等を進める上で、必要な技術を習得した森林施業技術者を養成する。</p>	<p>7,000千円</p>

【前年度の実施状況及び成果】 国補林道事業	市町村	林道の開設、改良、舗装及び林道の橋梁等の点検診断を支援する。  【前年度実績】 林道改良 1市 250m 点検診断 4市町 42箇所	14,896千円
【今後の取組】 国補林道事業	市町村	林業の生産性を向上させるため、引き続き事業を継続する。	145,335千円
【前年度の実施状況及び成果】 県単林道事業	県 市町村	国補林道事業の対象とならない林道の開設、改良、舗装を支援する。  【前年度実績】 林道改良 2市町 3路線 119 m	67,840千円
【今後の取組】 県単林道事業	県 市町村	林業の生産性を向上させるため、引き続き事業を継続する。	39,490千円

## (2) 流通加工体制の整備

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 木材利用促進 施設整備事業	民間法人等	県産木材の利用拡大を図るため、製材品の付加価値を高める木材加工施設等の整備を支援する。  【前年度実績】 木材加工施設の整備 1件	681,461千円
【今後の取組】 木材利用促進 施設整備事業	民間法人等	林業・木材産業を健全に発展させるためには、高い品質の製品を安定的に供給できる体制を整備する必要があることから、引き続き、木材加工流通施設等の整備を支援していく。	0千円

(3) 県産木材の利用の促進

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
<p>【前年度の実施状況及び成果】</p> <p>木づかいチャレンジ事業</p>	民間法人等	<p>県産木材の利用促進を図るため、モデルとなる大規模な建築物等の木造化・木質化や、多くの県民が利用する施設におけるベンチやテーブル等の木製品の導入などを支援する。</p> <p>併せて、素材生産や製材、建築業者等が連携して取り組む住宅用県産木材の生産・流通体制の構築を支援する。</p> <p>【前年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造化・木質化支援 1件</li> <li>・住宅用木材生産・流通体制の構築 6チーム</li> </ul>	48,918千円
<p>【今後の取組】</p> <p>木づかいチャレンジ事</p>	民間法人等	<p>県産木材の積極的な利用による循環型社会の形成に向けては、本県産木材の品質や供給能力を県外を含めて広くPRする必要があることから、引き続き、展示効果の高い木造建築物の整備等に対して支援を行っていく。</p>	117,800千円
<p>【前年度の実施状況及び成果】</p> <p>市町村森林整備等バックアップ事業（建築物木造化サポート事業）</p>	茨城県産材普及促進協議会	<p>県産木材を活用した建築物の整備促進を図るため、設計、調達等について専門家がサポートを行う取組を支援する。</p> <p>【前年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 27件</li> <li>・コーディネーター派遣 14件</li> </ul>	4,000千円
<p>【今後の取組】</p> <p>市町村森林整備等バックアップ事業（建築物木造化サポート事業）</p>	茨城県産材普及促進協議会	<p>非住宅分野における木造率は、未だ低位であることから、引き続き、取組を進めていく。</p>	4,000千円

<p><b>【前年度の実施状況及び成果】</b> 森林・林業体験学習促進事業</p>	<p>県 (公社) 茨城県森林・林業協会</p>	<p>小・中学生をはじめ県民に広く森林や林業について理解を深めてもらうため、森林・林業体験学習を実施するとともに、普及啓発活動等の取組を支援する。</p> <p><b>【前年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習参加者 8,383 人</li> <li>・普及啓発活動（イベント、展示会等による PR 活動） 8 回</li> </ul>	<p>33,462 千円</p>
<p><b>【今後の取組】</b> 森林・林業体験学習促進事業</p>	<p>県 (公社) 茨城県森林・林業協会</p>	<p>森林や林業への県民の理解及び関心を深めるため、引き続き、体験学習や普及啓発活動を実施していく。</p>	<p>38,400 千円</p>

## 4 その他

### 1 条例に関連する法令等の制定・改廃の動向

—

### 2 国・県における施策の見直し等の動向

「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の一部を改正する法律」が令和3年10月1日に施行され、法律が「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」から「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」へ変わるとともに、法の対象が公共建築物から建築物一般に拡大。

また、政府における推進体制として、農林水産省に基本方針の策定等を行う木材利用促進本部が設置された。

県では、同法律の改正に伴い、「県有公共建築物の木造化・木質化等の推進に関する指針(平成23年4月策定)」と「茨城県県産木材利用促進条例(平成26年4月施行)」に基づく「県産木材の利用の促進に関する指針(平成27年6月策定)」を一本化し、新たに「茨城県産木材の利用促進に関する指針」を策定した。

### 3 条例の運用上の課題

—

### 4 条例の改廃の必要性の有無

無

### 5 その他

—